

せんがくず新聞

リコー
DesignCenter



編集・制作:梅澤朝樹
発行日:2006年07月29日
第14号



5割打線で
8対8!!
勝てる試合で勝てず!

特大スリーベースを放つ畠山

初参加で2番定着遠山!

センター前タイムリー鈴木



吉越、安村
年の差誕生日会!

	打数	安打	打点	本塁打	通算	打率		
(九)	堀口	3	2	0		.666		
(三)	遠山	2	0	0		.000		
(六)	梅澤	3	2	0		.666		
(一)	矢野	2	1	1		.500		
(二)	宗像	2	1	0		.500		
(六)	畠山	3	2	2		.666		
(二)	三木	2	1	0		.500		
(八)	近藤	3	1	1		.333		
(七)	鈴木	2	1	1		.500		
(五)	鈴木	2	1	1		.500		
(六)	吉越	3	1	1		.333		
DH	吉越	3	1	1		.333		
					25	12	6	.500



せんがくずベースの試合展開!
終盤、3本HRで追いつかれる!

梅雨明けとなった夏の真っ昼間に、東芝との練習試合がおこなわれた。

試合は序盤からせんがくずのペースで始まり、せんがくずベンチはいつもにも増して盛り上がりを見せる。この日初参加の遠山は、粘りのある打撃で四球を選び、2番定着をアピールした。投げては先発の矢野が、相手打線を3点におさえていた。

3回には、畠山の特大スリーベース、三木の痛烈なライト前ヒットなどで、2点を追加。もはや試合は一方的なせんがくずペースになるかと思われた。

しかし、4回にこれまで好投を続けてきた矢野に代わって梅澤がリリーフすると、流れは一転する。相手打者に高めを合わせられ、2本のホームランをあげ、3点を返された。スリーアウトの全ては三振だが、得点は全てホームランという、一人相撲の展開となる。

最終回では、更に1本のホームランをあげ、これで同点。二死一、三塁とし、一塁ランナー盗塁の間に三塁ランナーがサヨナラの得点を狙うが、これを投手梅澤がカット。キャッチャーに送球すると一髪アウト。なんとかサヨナラは免れた。

先発全員出塁でこの日5割の打線を見せたせんがくずだったが、守備に課題が残った。来月の東芝との合宿では、リベンジをねらいたい。

東芝	せんがくず
0	4
2	1
1	2
3	1
2	0
.....	
8	8



吉越、安村
年の差誕生日会!

**吉越、安村
年の差誕生日会!**

試合後、多摩川緑地管理事務所の食堂で、宴会がおこなわれた。その席で、吉越、安村の年の差誕生日会がおこなわれた。ふたりは誕生日が2日違いで、せんがくずの試合日と重なり、誕生日会が実現した。メンバーからはケーキがあげられ、特別な吉越人形もプレゼントされた。

**やはりバッティングセンター
効果あり!**

最近では、試合がある週の水曜日、木曜日あたりで、せんがくずナインはバッティングセンターで練習をしている。そのせいか、この2試合のせんがくずの打撃には、目を見張るものがある。

選手ひとりひとりには確実に実力がアップしている。この勢いで合宿をおこない、秋の1Dリーグで1部昇格を目指したい。

